整理番号

D－1－1　　328

標 題 名

水産調査報告第14巻第2冊

浮遊珪藻

著 者 名

発行者名

農商務省水産局

発 行 年

明治３８

製作年月

平成２８年８月

植物防疫資料館
C－6－001
東大・植物病理
寄贈

水産調査報告

第十四卷第貳册

浮游硅藻類

附圖參枚

浮游硅藻類報告　第一

海藻磯燒調査囑託員
遠藤吉三郎

硅藻類ハ下等隱花植物部門中判然區劃セラルヽヲ得ヘキ一類ニシテ地球上到所之レヲ產シ主トシテ淡水及ヒ海水中ニ棲息スレトモ濕潤ナル泥土等ノ中ニモ之レヲ發見スルヲ得ヘシ而シテ海產硅藻類ニ在リテハ終始浮游シテ存スルモノト一時又ハ永久他物ニ附着シテ存スルモノトノ二樣アリ然レトモ此區別ハ素ヨリ便宜的ノモノニシテ縱令附着シテ生存スルモノト雖モ波浪其他ノ機械力ノ爲メニ脫離シテ浮游生活ヲ營ムモノアリ此故ニ本報告ニ於テハ主トシテ浮游硅藻ニ就テ陳フレトモ亦タ此ノ如キ種類ヲモ網羅スルヲ勉メタリ

浮游硅藻類ハ海水ノ溫度、成分、深淺及ヒ時季ニ依リテ其種類及ヒ數量ヲ異ニス故ニ海洋ノ水質、潮流ノ流域等ヲ調查セント欲セハ其所產ノ硅藻如何ヲ知ルハ必要缺クヘカラサルノ事項ナリトス又魚類ノ胃腸中ニ存スル硅藻ノ種類ニ依リテ其魚道及ヒ習性ヲモ察知スルヲ得ヘキハ勿論ノコトヽス故ニ此類ノ調查ハ水產上急務中ノ最ナルモノニシテ歐米諸國ニ於テハ之レニ關スル報文資料一ニシテ足ラス然ルニ本邦ニ於テハ從來其調查ヲ企テタルモノナク二三歐人ノ手ニ成レル文書ノ無キニ非スト雖モ到底其一端ヲ窺ヒタルニ過キス是ニ於テ本調查ヲ企圖シ得ルニ隨テ其結果ヲ報告セントス今回ハ本年四月上旬相摸國三浦郡三崎町附近ニ於テ得タル材料ニ就キ約五十種ヲ撰ミ之レヲ圖說セリ其各種ニ就テ多寡ヲ

記シタルハ上述ノ場所ニ於テ上述ノ時季ニ於ケルモノト知ルヘシ

各種ノ性狀ヲ記述スルニ先タチ便宜ノ爲メ硅藻類一般ニ關シテ解說スヘシ之レ記述中ニ用キタル術語ノ意義ヲ明カニスルヲ要スレハナリ

硅藻ノ體ハ常ニ單一ノ細胞ヨリ成リ其最大ナルモノト雖モ直徑二「ミリメートル」ニ達スルモノナシ其小ナルモノニ至リテハ十「ミクロミリメートル」以下ナルモノ少カラス故ニ之レヲ檢出セントスルニ當リテハ四五百倍ノ廓大力ヲ有スル顯微鏡ヲ必要トシ其精細ナル諸點ヲ知ルニハ六百倍以上ノモノナラサルヘカラス然レトモ多數ノ硅藻相集マリテ一群體ヲ構成スル場合ニハ暗褐色ナル細點又ハ線條トナリテ肉眼ニ映シ時トシテ白色ノ物體即チ石灰藻科植物ノ死殼又ハ諸種ノ貝殼等ニ着生セル時ハ黃褐色ノ被膜トシテ見ユ

僅少ナル例ヲ除ケハ體ハ二個ノ箱狀ヲ成セル殼被ヲ以テ表裏ヨリ包被セラル其狀恰モ行李ヲ蓋シタルニ似タリ故ニ其側面ヨリ見ルトキハ大ナル一部ハ小ナル一部ヲ半ハ包メルヲ見ルヘク其境界即チ行李ニテ謂ヘハ蓋ノ緣邊ハ體ノ中央ヲ縱ニ走レリ之レヲ匝帶線ト名ツク而シテ正面即チ行李ニテ謂ヘハ蓋又ハ實ノ上面ヨリ見ル時ハ或者ハ中央ニ縱ニ走レル一線アリ之レヲ殼隙ト稱ス此殼隙ノ中央及ヒ兩終端ニ當リテ小キ圓盤狀ノ凹所アリ大概著シク光線ヲ反射ス又殼隙ノ左右ニ整然トシテ羽狀ニ排列セル微細ナル線狀ノ彫刻ヲ有スルモノアリ又ハ輻射狀ニ點紋ヲ有スルモノアリ又ハ或ル種類ニテハ昆蟲ノ複眼ノ如キ六角形ノ彫刻ヲ有スルモノアリテ宛然金網ヲ以テ被ハルヽニ似タリ是等ノ性質ハ一個體中ニ同時ニ見ルヲ得ルコトアレ𪜈或ハ前揭諸點ノ一ヲ缺キ又ハ二三ヲ缺クモノモアリテ一樣ナラス其形狀ノ如キモ必スシモ行李ノ如ク簡單ニ非スシテ其一半膨大シテ左右不同トナリ又ハ體ノ諸所ヨリ凸起或ハ刺ヲ生シ甚タ複雜ナル形態ヲ作ルモノアリ

硅藻類ハ其外形ノ如何ニ關セス其殼被ニ必ス多少ノ無水硅酸ヲ含有シ著シク堅剛ニシテ且ツ脆シ而シテ此無水硅酸ハ諸

種ノ酸類ニ對シ分解スルコトナク隨テ變形スルコトナキヲ以テ硅藻ヲ取リテ火中ニ投シテ之ヲ燒クカ或ハ自然ノ分解ニ依リテ細胞含有物ノ消失スルコトアルモ殼被ハ依然トシテ其固有ノ形狀ヲ保チ明カニ其種類ヲ檢定スルヲ得ヘシ斯クノ如キ不變ノ性質ハ魚類ノ胃腸中ヲ經テ更ニ海鳥ノ胃腸ヲ通過スルモ更ニ些ノ影響ヲ蒙ムルコトナシ

特殊ノモノヲ除ケハ硅藻ハ孰レモ黃褐色ノ色素粒ヲ含有ス此粒ハ著シク光線ヲ反射スル性アルヲ以テ硅藻ノ群體ハ往々黃金色ノ光澤ヲ呈スルコトアリ此等ノ色素ハ硅藻素ト稱スルモノト葉綠素トノ混合物ニシテ普通ノ褐色藻類ニ見ル所ノ褐色素トハ甚タ其性質ヲ異ニセリ而シテ此色素粒ハ顆粒狀ヲ爲セルモノモアレモ或ハ不規則ナル板狀ヲ爲シ其形ハ常ニ其種屬ニ隨テ一定セリ一般ニ硅藻素ハ速カニ變化スルモノニシテ其極メテ新鮮ナル又ハ生活セル材料ニ非サレハ眞相ヲ窺フコト難ク死後數分乃至數時間ヲ經レハ分解シテ葉綠素ノミ其色彩ヲ保ツモノトス故ニ分類學上ニハ色素粒ノ形狀如何ハ敢テ重要視セラレザルナリ

先キニ陳ヘタル如ク硅藻類ニハ他物ニ附着シテ生活スルモノト浮游シテ存スルモノトノ二樣アリ其着生セルモノニハ一方ノ殼被ノ上面全部ヲ以テ他物ノ表面ニ愈着シテ存スルモノアリ又ハ寒天狀物質ノ柄ヲ以テ着生スルモノアリ又ハ寒天狀物質ノ管中ニ埋藏セラルヽモノアリ此等ノ場合ニハ柄又ハ管ノ一端ハ岩石若クハ他ノ藻類ニ附着スルヲ常トス始メヨリ浮游シテ生活セルモノニハ自ラ運動スルヲ得ルモノト否ラサルモノトアリ其如何ニシテ運動スルヤハ從來學者ノ所論一定セサル所ナレモ硅藻體ノ周圍ニ存スル粘液ノ環流ニ因リテ之レニ接觸セル水ト摩擦ヲ生シ其抵抗力ヲ以テ運動ヲ起スモノナルヘシト謂ヘリ

硅藻類ノ生殖法ハ二樣アリト目スルヲ得ヘシ其第一ノ方法ハ個體ノ數ヲ增加スル手段ニシテ第二ノモノハ增殖力ヲ恢復スルモノトス

第一ノ方法ハ單ニ內被ト外被ト相離レテ細胞含有物ハ二等分セラレ其各半ハ內外被中ニ止マリ而シテ後チ新タニ內被ヲ

構成スルナリ行李ヲ以テ譬フレハ蓋ト實ト相離レテ蓋ニハ新タニ之レニ相當スル實ヲ生シ舊トノ實ハ更ニ蓋トナリテ別ニ實ヲ構成スルナリ故ニ蓋ヲ主トシタル新個體ハ其大サ從前ノモノト異ナラサレモ實ヲ主トシタル個體ハ一廻リ丈ケ母體ヨリモ小ナルコトヽナルヘシ斯クノ如クシテ數回乃至數十回分裂シテ漸次其大サヲ減シ終ニハ極メテ小ナルモノトナリ最後ニ其極度ニ達スルノ時アルヘシ茲ニ於テ增大胞子ナルモノヲ作リテ固有ノ大サヲ恢復セントス是レ第二ノ生殖法ナリ

增大胞子ヲ作ラントスルモノハ內外ノ兩被共ニ離レテ其含有物ハ外界ニ露出セラレ其外部ニ固有ノ大サヲ有セル內外被ヲ新規ニ形成スルナリ時トシテハ二個ノ小細胞相合シテ其含有物愈合シテ一團トナリ之レヨリ一個又ハ二個ノ增大胞子ヲ作ルコトアリ斯クシテ固有ノ大サヲ得タルモノヲ生スレハ之レヨリ順次分裂シテ其數ヲ增加シ復タ增大胞子ヲ作ル時トシテ四圍ノ狀態自レニ利アラサルトキハ休眠胞子ヲ作ルコトアリ之レ未タ硅藻類全般ニ就テハ明カナラサレトモきいとせらす屬ノモノニハ屢々之レヲ目擊スルヲ得ルナリ

一　めろしいら、ぬむろいです　第一圖

(圖解)第一回、大小二樣ノ聯結體、六百倍

MELOSIRA NUMMULOIDES *Bory.*

普通ノモノハ體ハ球形又ハ楕圓形ニシテ其長サハ直徑ヨリモ大ナリ常ニ二個宛密接シ更ニ他ノ一對ト連接スルニ少許ノ塞天狀物質ヲ以テス而シテ密接セル二個ハ大概母體ノ殼ヲ有シ體ノ半ハヲ其中ニ藏ス一般ニ其露出セル半部ニハ微細ナル點紋アリテ母殼中ニ存スル部ハ平滑ナルカ又ハ點紋極メテ微ナリ色素粒ハ不規則ナル板狀塊ヲ爲シ數個アリ

增大胞子ヨリ發シテ未タ老成セサルモノハ其大サ普通ノモノヨリモ著シク大ナリ其形狀及ヒ他ノ點ニ於テハ略ホ大差ナ

ケレトモ其長サハ直徑ヨリモ小ナリ勿論其分裂ノ途中ニ在ルモノハ其中央部延長セルヲ以テ此限リニ非ストス大小孰レニ關セス體ノ露出セル半部ノ中帶ニ於テ微小ナル硅石質ノ刺狀凸起アリ其由來及ヒ作用ニ就テハ未タ審ナラサル點アリ

此種ハ恐ラクハ始メ他物ニ附着シテ生セルモノナラント思ハル　トモ大概數多相聯リテ線狀ヲ爲シ浮游セリ三崎近海ニハ極メテ多シ

二　めろしいらノ一種　第二圖

(圖解)、連結セル三個體、內一個ノミ色素粒ヲ示ス、百五十倍

MELOSIRA *sp.*

體ハ圓柱狀ニシテ兩端平カニ僅カニ隆起シ正面ハ眞圓ナリ直徑凡ソ七十五「ミクロミリメートル」アリ兩端面ハ丸味ヲ帶ヒ其緣邊ニハ數多ノ刺ヲ有シ相隣レルモノト接着ス其狀すてふあのびきしすニ於ケルカ如シ側面ヨリ見ルトキハ體長ノ約三分ノ一ノ廣サヲ有スル中間帶アリ之レヲ外ツレタル所ニ當リ體ヲ匝レル淺キ溝アリ色素粒ハ輪廓不規則ナル小圓盤體ニシテ被殼ノ裏面ニ散布セラル

體ノ外表面ニハ細カキ點紋アリテ複眼狀彫刻ニ非ス之レ主トシテすてふあのびきしす屬ト別ツヘキ要點ナリ

此種ハ二三個縱ニ聯リテ存スルコト多ク三崎近海ニハ普通ナリ

三　ひやろぢすくすノ一種カ　第三圖

(圖解)種々ノ方向ヨリ見タル數個ヲ示ス、六百倍

HYALODISCUS *sp?*

體ハ短キ圓柱狀ヲ爲シ直徑凡ソ十七「ミクロミリメートル」アリ高サハ直徑ノ二分一乃至一倍半ニ至ル兩端面ハ稍ヤ球面ヲ爲ス色素粒ハ楕圓形ニシテ上下面ノ內側ニ散布セラル

此種ハ恐ラクハ前揭ノ屬ニ屬スルモノナラン然レトモ上面ノ紋樣ノ分明ナラサル所アルヲ以テ之ヲ決定スル能ハス

三崎近海ニハ稍ヤ普通ノモノナリ

四　すてふあのぴきしす、とるぎだ　第四圖

STEPHANOPYXIS TURGIDA *Ralf.*

（圖解）a連結セル三對ヲ示ス三百倍、b、刺ノ基部ヲ示ス放大

體ハ圓擣狀ニシテ其高サハ直徑ヨリモ遙カニ小ニシテ時トシテ二分ノ一ニ過キサルコトアリ其上下ノ兩端ハ球面狀ニ膨レ其中央ハ稍ヤ扁平ナリ常ニ二個體密接シテ一對トナリ母殼中ニ體ノ半部ヲ藏セルコトめろしいらニ見シニ似タリ斯クノ如キモノ數對相聯ナリ玆ニ一列ヨリ成レル線狀體ヲ構成ス體ノ表面ニハ微細ナル複眼狀彫刻アリテ殊ニ露出部ニ於テ鮮明ナリ

一個體カ他ノ隣レル一個體ト聯結スルニハ十數條乃至二十餘條ノ硅石質ノ細條ニ賴ル此細條ハ體ノ兩端緣邊ニ起リ單ニ絲狀ノモノニ非ズシテ實ハ六角形ノ網目ノ一點ニ合スル三邊カ緣邊延長シテ成リタルモノニシテ其二個體ヨリ發シタルモノカ途中ニ於テ遭合シ愈着セシモノトス時トシテ甲者ヨリ發シタル二條カ乙者ヨリ發シタル一條ト共ニ一點ニ於テ相合スルコトアリ

色素粒ハ小圓板粒ニシテ其緣邊多少不規則ナリ

此種ハ三崎附近ニテハ極メテ普通ノモノニシテ恐ラク安房伊豆近海ヨリ以南ニ於テモ亦然ラングルノウ氏ニ據レハ甞テ

東京灣ニ於テ其枯死セルモノヲ獲タルコトアリト云フ

五　たらしをしいら、くれびえいカ　第五圖

THALASSIOSIRA CLEVEI *Gran?*

（圖解）連結セル二個體ヲ示ス、三百倍

體ハ圓板狀ニシテ直徑六十「ミクロミリメートル」ヲ算シ高サ十「ミクロメリメートル」餘アリ兩面少シク膨レ其中心ヨリ一條ノ太キ柱アリテ他ノ個體ニ至リ以テ聯結ノ用ヲ爲ス此柱ハ柔軟ニシテ多少彎曲スルヲ得ヘシ側面ノ中央ヲ走リテ筬ノ如ク之レヲ匝レル一條ノ厚キ環帶アリ色素粒ハ比較的少數ニシテ楕圓形ヲ爲シ殼ノ內面ニ散布セラル

三崎近傍ニハ往々之ヲ見ル

此種ハ上揭ノ種名ト相當スル所アリ然レトモ其原記載ヲ照合シタルニ非サレハ確實ナルヤ否ヤヲ保シ難シ殊ニ該種ニハ筬狀ノ環帶ノ有無疑ハシ

六　すけれとねま、こすたとむ　第六圖

（圖解）連結セル四個體ヲ示ス、六百倍

SCELETONEMA COSTATUM *Cleve.*

體ハ圓柱狀ニシテ上下ノ兩面球面狀ニ膨レ其大サ直徑僅カニ六乃至七「ミクロミリメートル」ナルヲ以テ比較的高度ノ顯微鏡ヲ以テシテ始メテ其構造ヲ認ムルヲ得ヘシ體ノ長サハ大概直徑ヨリモ大ナリ常ニ數多線狀ニ相聯ナリ各個體ノ間ニ著シク廣キ間隔ヲ有ス之レヲ聯結スルモノハ硅石質ノ細條ニシテ上下ノ緣邊ヲ匝リテ柵ノ如ク立チ兩者ヨリ生シタルモ

ノ中途ニ於テ相遭合ス色素粒ハ板狀ヲ爲シ二三個アリ多クハ上下ノ兩端ニ偏倚シテ存ス

本種ハ香港、爪哇等ノ近海ニモ産シ北太西洋ニモ常ニ存スト云フ浮游植物中ノ重要ナルモノナリ三崎附近ニハ極メテ普通ナリ

七　えすもちすくす、わいびりやぬす　第七圖

ETHMODISCUS WYVILLEANUS *Cast.*

（圖解）側面ヨリ見タルモノ四十倍

體ハ圓柱狀ニシテ兩端球面ヲ爲シ恰モ俵ニ似タリ正面ヨリ窺ヘハ眞圓形ヲ呈シ中央ニ當リテ原形質ノ塊ヲ見ル之レヨリ車軸狀ニ發セル網目形ノ原形質アリ微細ナル小判形ノ色素粒之レニ隨テ分布セラル兩端ノ原形質ヲ連ヌル一條ノ原形質ハ體ノ中軸ヲ走レリ體ノ側面ニ當リテ中央ヲ匝レル一條ノ線アリ著シク發達セリ被殼ノ表面ニハ點紋アリ上下ノ面ニ在リテハ中心ヨリ放散狀ニ射出シ側面ニ在リテハ縱ニ排列セラル其數十「ミクロミリメートル」毎ニ四個ナリ

此種ハ次ニ記述スルあんてるみねりあ、ぎがすニ次テ大ナル硅藻ニシテ直徑一「ミリメートル」ヲ算シ高サハ其一倍半ニ達スルコトアリ

三崎ノ近海ニハ數多之ヲ產ス

八　あんてるみねりあ、ぎがす　第八圖

（圖解）側面ヨリ見タルモノ、四十倍

ANTHELMINELLIA GIGAS *Schütt.*

此種ハ硅藻類中恐ラクハ最大ナル種ナラン其直徑千六百三十二「ミクロミリメートル」或ハ其以上ニ達スルコトアリテ容易ニ肉眼ヲ以テ檢出スルコトヲ得ヘシ形ハ圓柱狀ニシテ其高サハ直徑ヨリモ小ク一面ハ平カニシテ他ノ一面ハ球面狀ニ隆起セリ體ヲ匝リテ二條ノ細キ横線アリ以テ等幅ノ三帶ニ分ツ通常平面側ニ近キ線ハ明カニ他ノ一條ヨリモ太シ被殼ノ表面ニハ細密ナル彫刻アリ其螢光ヲ放ツハ之カ爲ナリ色素粒ハ微細ナル圓盤狀ヲ爲シ體ノ全面ニ散在ス

三崎近海ニハ可ナリ普通ノ種ナリ

九　すてふあのぢすくすノ一種カ　第九圖

（圖解）側面及ヒ正面ヨリ見タルモノ、一ハ將ニ分裂シ了リタルモノヲ側面ヨリ見シトコロ、共ニ三百倍

STEPHANODISCUS *sp?*

體ハ正面ヨリ見レハ眞圓ニシテ複眼狀紋樣アリ中心ヨリ輻射狀ニ發セリ緣邊ニ近キ所ニ六七本乃至十餘本ノ太キ刺アリ體ノ高サハ直徑ニ比シテ三四分ノ一ニ過キス其中央ヲ匝リテ狹キ間帶アリ上下ノ兩面ハ球面狀ニ隆起セリ

本種ハすてふあのぢすくす屬ノ植物ナルベシト信スレトモ其兩面ノ點紋ハ該屬固有ノモノト多少相違スル所アリテ却テこつしのぢすくす屬ノモノニ似タリ然レトモ後者ニハ緣邊ノ刺ノ此種ノ如ク著シキモノ無キヲ以テ之レニ當タルモノトハ思ハレス後日ヲ待チテ決定スヘシ

三崎附近ニハ屢々之レヲ見ル

十　こつしのぢすくすノ一種　第十圖

（圖解）側面ヨリ見シモノ、四十倍

COSCINODISCUS *sp.*

材料不完全ニシテ種名ヲ知ル能ハス

十一　あすてろんふあるす、ろうぺりあぬす　第十一圖

ASTEROMPHALUS ROPERIANUS *Ralf.*

（圖解）a正面ヨリ見タルモノ、b側面（六百倍）

體ハ正面ヨリ窺ヘハ眞圓形ニシテ中央ヨリ六條ノ溝狀帶射出シ體ノ外緣ニ達セリ其間ノ塲面ハ六角形ノ複眼狀彫刻ヲ以テ充タサル但シ一ノ區域丈ケハ更ニ一條ノ細溝ヲ以テ兩半ニ分タレ合計七個ノ有紋區域ヲ作ル中央ニハ略ホ五角形ノ廓狀線アリ其各隅角ヨリ一條ノ隆起線アリテ二回電光狀ニ屈折シテ後チ有紋區域ノ頂點ニ達ス而シテ夫ノ五角形ノ廓狀線ノ一方ハ開キテ其兩邊ハ延長シ變形シテ細溝ニ移ル體ノ側面ヨリ見ル時ハ扁平ニシテ溝狀帶ヲ有スル部ハ外緣ニ至ルニ隨テ隆起シ終ニ緣邊ニ達スレハ上面ト直角ヲ爲ス

三崎近海ニテハ稀ニ之ヲ見ル

十二　これつろんノ一種　第十二圖

（圖解）a側面、b長刺ノ基部及ビ其排列ヲ示ス

CORETHRON *Sp.*

體ハ圓柱形ニシテ兩端球面狀ニ隆起シ其將ニ球面ニ移ラントスル緣邊ヨリ少シク下方ニ更ニ一條ノ環狀帶アリ之レヨリ體ノ外上方ニ向ヒテ數多ノ長刺ヲ發ス是等ノ刺ハ著シク脆クシテ破損シ易シ體ノ長サハ其個體ニ依リテハ差アレトモ大概直徑ト略ホ等シキカ又ハ一倍半位アリ其分裂セントスルニ當リテハ兩端ニ扁壓セラレタル二個ノ球狀體ヲ作ル色素粒

ハ不規則ナル圓盤狀ヲ爲シ殼被ノ裏面ニ散布セラル

これつろん屬ハ僅少ノ種類ヲ包含スルモノニシテ本種ニ似タルハこれつろん、ひすてりつくすノ一種アルノミ然レトモ是等兩者ニハ種々異ナル點アレハ種名決定ハ後日ニ讓ル

三崎近海ニハ稀ナラス

十三　りぞそれにあ、かるかあびす　第十三圖

RHIZOSOLENIA CALCAR-AVIS *Schultz.*

（圖解）側面（百五十倍）

此種ハりぞそれにあ屬中特殊ノ性質ヲ有スルヲ以テ容易ニ之レヲ判定スルヲ得ヘシ即チ體ハ圓柱狀ニシテ兩端ニ於テ斜メニ削ケ其先端ハ銳キ刺狀凸起ニ終ル之レ本屬中ノ種類ニ共通ノ性質ナレトモ其刺カ眞直ニ非スシテ烏ノ爪ノ如ク曲レルヲ著シトス爪ノ稍ヤ太クナリタル所ニ隔壁アリ以テ體中ノ含有物ノ爪中ニ移動スルヲ妨ク色素粒ハ細微ナル圓盤狀ニシテ殼被ノ裏面ニ觸接シ原形質ノ分布ニ隨テ網狀ニ散布セラル體ノ表面ニハ極メテ微細ナル波紋アリ所謂十二波ノ如キ排列法ヲ以テ體ヲ横ニ匝レリ

此種ハ多ク獨立シテ存スルヲ常トスレトモ分裂ノ直後ニ當ルモノハ二個體連續スルコト多ク又稀ニ三個一聯トナレルコトアリ

三崎附近ニハ時トシテ之レヲ見ルアルノミ

十四　りぞそれにあ、せちげら　第十四圖

(圖解)一個體ヲ半ハ正面ヨリ見ル(二百五十倍)

RHIZOSOLENIA SETIGERA *Brightw.*

體ハ圓柱狀ニシテ兩端圓錐狀ヲ爲シ其先端極メテ細長ナル刺トナル其刺ノ長サ往々體ノ全長ト比スヘキコトアリ而シテ其圓錐ノ頂點ハ體ノ中軸上ニ在リテ第十三及ヒ第十五ニ記セルモノヽ如ク偏在セス圓錐ノ頂端刺狀ニ移ル邊ニ當リ小隔壁ヲ有セリ色素粒ハ小キ圓盤狀ヲ爲シテ殼被ノ裏面ニ散布セラル

時トシテ體ノ一端ニ當レル刺ハ他端ノモノヨリモ短キコトアリ此場合ニハ圓錐狀部ヨリ圓柱狀部ニ移ラントスル附近ニ於テ母體ノ殼被ノ殘存セルヲ見ル之レニ依リテ判スルニ此ノ如キ不同アルハ其分裂シテ未タ日ヲ經サルニ因ルモノナラン

三崎近海ニハ之レヲ見ルコト稀ナラス

十五　りぞそれにあ、すちりふをるみす　第十五圖

(圖解)色素粒ノ排列法ハ透視的斷面ヲ示ス(三百倍)

RHIZOSOLENIA STYLIFORMIS *Brightw.*

此種ノ體ハ圓柱狀ヲ爲シ兩端斜メニ削ケ恰モ竹稈ヲ斜ニ截リタルカ如シ其上下ノ兩面ハ並行シ先端ハ尖リテ銳キ嘴狀ヲナス其將ニ狹細ナラントスル所ニ小隔壁アルコト前二種ニ同シ色素粒ハ微小ナル圓盤狀體ニシテ殼被ノ裏面ニ散布セラル圖ニ示シタル如ク中央ニ相集リ球面相觸ルヽカ如クナルハ分裂セントスルモノナラン膜ノ表面ニハ細カキ波紋アリ其

數條ハ互ニ並行シテ他ノ數條ト相會スル狀吾人ノ掌ニ於ケル皮紋ノ如シ

本種ハ地球上所々ニ發見セラルヽモノニシテ瓜哇島附近ニモ之レヲ產スルヲ知ラレタレハ我カ國ニテ之レヲ見ルヲ得ルハ異トスルニ足ラサレトモ三崎近海ニテ得タルモノニハ前述ノ如キ彫刻ヲ認メ本種ノ記載ト多少差異アルヤニ思ハル然レトモ其他ノ性質ニ於テハ全ク區別スヘキニ非サルヲ以テ暫ク本文ノ如クス

三崎近海ニハ時々之レヲ見ル

十六　きいとせらす、ぷろちうべらんす　第十六圖

CHAETOCERAS PROTUBERANS *Laud.*

（圖解）側面ヨリ四個體ノ聯結セルヲ見ル（三百倍）

體ハ側面ヨリ見レハ稍ヤ矩形ニシテ其四隅ヨリ彎曲セル長刺ヲ發ス而シテ其上下ノ兩面ハ少シク凹ミテ其中央ニ當リ半球形ノ疣狀凸起ヲ生ス此凸起ハ特ニ光線ヲ著シク反射スルノ性アリ色素粒ハ板狀ヲ爲シ上下兩端ニ偏在シテ二字形ヲ作リ體ノ中心ニ面スル側ハ不規則ニ高低アレトモ其反側ハ平カナリ

此種ハ浮游植物中ニ常ニ見ル所ニシテ水產上要用ナルモノヽ一ナリ平常獨立シテ存スルコトナク多數相聯リテ線狀ヲ爲セリ其連ナルヤ甲者ノ下側ニ在ル二個ノ刺ハ乙者ノ上側ニ在ル二個ト互ニ其基部ニ於テ交叉スルコト圖ニ示セル如シ其結果二個體相聯ナル間ニ稍ヤ楕圓形ノ空隙ヲ生シ夫ノ疣狀凸起ハ兩々相對シテ此空隙內ニ隆起セリきいとせらす屬ハ一般ニ群體ノ終點ニ在ル個體ノ外側ヨリ發スル刺ハ中間ニ於ケルモノト異ナリテ大概著シキ太サヲ有シ且ツ多少彎曲ノ有樣ニ相違アリ本種ニ在リテハ末端ノ刺ハ太クシテ細カナル鋸齒アリト記載セラルレトモ今回檢シタル材料ニテハ此點ヲ發見スル能ハサリキ之レ多分外端ニ位セル個體カ落離セルニ因ルモノナランチヤレンヂヤア號探檢報告書ニハ余カ得タ

ルト同樣ノモノヲ掲ケ其太キ刺ヲ缺クヲ以テ變種トシテ擧ケタレトモ敢テ之レヲ以テ異種又ハ變種ト認ムヘキニ非スト信ス

三崎近海ニ於テハ稍ヤ普通ノ種ナリ

十七　きいとせらす、めぢうむ　第十七圖

CHAETOCERAS MEDIUM *Schütt.*

（圖解）五個體連結ノ狀、其上端ノモノハ將ニ分裂セントシ其中間ヨリ太キ刺ヲ生ス（六百倍）

此種ハ體ハ略ホ圓柱狀ニシテ直徑十「ミクロミリメートル」程アリ長サハ直徑ニ比シテ多少ノ差アルノミ其分裂ニ際シタルモノト雖モ十三「ミクロミリメートル」ヲ超エス上下ノ兩面ハ稍ヤ隆起シ刺ハ比較的細クシテ橫ニ左右ニ出ツ時トシテ分裂中ノ個體ニ著シク太キ刺ヲ見ルコトアリ之レ群體ノ末端ニ在ルモノニ限ルカ如シ但シ群體ハ直線狀ナリ、色素粒ハ楕圓形又ハ卵形ニシテ七八個アリ殼ノ裏面ニ散在ス

三崎附近ニハ稀ニ之レヲ見ルコトアリ

十八　きいとせらす、えくわとりありす、カ　第十八圖

CHAETOCERAS AEQUATORIALIS *Cleve?*

（圖解）a 四個聯結ノ狀、內二個丈ケ色素粒ヲ示ス（三百倍）
b 一個體ノ正面（六百倍）

側面ヨリ見ル時ハ體ノ高サ約二十五「ミクロミリメートル」巾凡ソ三十「ミクロミリメートル」ヲ有スル四角形ニシテ體ヲ匝リテ二條ノ線アリ以テ等幅ノ三帶ニ分テリ正面ヨリ見ル時ハ圓形ニシテ多少楕圓形ヲ爲シ其面平カナリ刺ハ太クシテ

管ヲ爲シ體ノ四隅ヨリ發シ始メハ側方ニ出ツレトモ弧形ニ曲リ終ニ後方ヲ指シ體ノ中軸ニ平行ナルニ至ル色素粒ハ微小ナル小判形ニシテ體ノ裏面ニ散布セラレ其或モノハ管狀刺ノ中ニ入ル然レトモ刺ノ根元ヲ距ツル遠カラサル點ニ達スルノミ其全長ニ及ハス

此種ノ數個體連結セラルヽ場合ニハ相隣レル二個ハ稍ヤ紗レテ存ス其結果線狀群體ニ在リテハ刺ハ眞直ナル側線上ニ存セスシテ少ク螺旋狀線中ニ在ルコトヽナル

前揭ノ種ハ刺ノ長サ三「ミリメートル」四分ノ三ニ達スト云フ然ルニ三崎産ノモノハ僅カニ其十分ノ一ニ過キス之レ疑フヘキ點ナリトス

三崎近海ニハ常ニ之レヲ見ル

十九　きいとせらす、せくんどす

第十九圖　（圖解）環狀群體ヲ橫ヨリ見シ一部（二百五十倍）

CHAETOCERAS SECUNDUS *Cleve.*

此種ハきいとせらす屬中特異ノ形狀ヲ有スルモノナリ即チ數多聯結スルニ當リテ直線狀ヲ爲サスシテ弧狀ヲ爲シ刺ハ兢レモ一整ニ弧狀線ノ外方ニ向ヘリ之レ此種名アル所以ナリ

體ハ側面ヨリ見ル時ハ略ホ四角形ニシテ高サ及ヒ幅共ニ二十七八「ミクロミリメートル」ヲ算ス上下ノ兩面ハ凹形ヲ呈シ相隣レル二個體間ニハ楕圓狀ノ空隙ヲ作レリ正面ヨリ見ル時ハ扁壓セラレ巾八九「ミクロミリメートル」ノ楕圓形ナリ刺ハ基部ニ於テハ稍ヤ太ケレトモ次第ニ細クナリテ終ニ極メテ纖細ナル毛狀ニ變ス

三崎近海ニテハ普通ナラサルモノナリ

二十　きいとせらす、でんちくらとす、カ　第二十圖

CHAETOCERAS DENTICULATUS *Lauder?*

（圖解）a 一群體ノ一端ヲ示ス色素粒ハ半ハ分解セリ（三百倍）
b 休眠胞子ヲ有スルモノ一種（六百倍）
c 同上ノ他ノ一種（六百倍）

此種ハ側面ヨリ見ルトキハ高サ十七「ミクロミリメートル」幅三十「ミクロミリメートル」許リノ矩形ヲ呈シ其分裂ニ近キモノハ往々高サ三十五「ミクロミリメートル」ニ達ス上下ノ兩面ハ少シク凹形ヲ呈シ之レヲ正面ヨリ窺フトキハ長楕圓形ナリ體ノ四隅ヨリ刺ヲ發スルコト他ノ同屬ノ種ト等シ體ノ周圍ヲ匝リテ二條ノ縊レアリ以テ高サヲ略ホ等シク三帶ニ分ツ但シ中央部ハ屢々他ノ二者ニ比シテ廣濶ナルコトアリ

本種ハ數多相聯リテ平打ノ紐ノ如ク群ヲ爲シ群中ノ終點ニ位スルモノハ其外端ニ有スル刺ハ著シク太ク且ツ其表面ニ微細ナル鋸齒アリ其發スル始メハ側方ニ向ヘトモ後ニ上方ニ曲リ其先端更ニ少シク外方ヲ指セリ

三崎近海ニハ此種ニ似タル群體ニシテ休眠胞子ヲ作レルモノヲ見ルコト即チ圖ニ示セルｂｃ之レナリ然レトモ此兩者ハ果シテ本種ニ屬スルモノナルヤ或ハ全ク他ノ種ノモノナルヤ詳ナラス種々ノ點ヨリ考察シテ假リニ本種ト同項ニ之レヲ陳フ又此種ヲハ前揭ノ學名ニ相當スト爲スハ多少難スヘキ所ナキニ非ス不幸ニシテ標本ヲ逸シテ其精細ナル諸點ヲ比較スル能ハス暫ク疑ヲ存シテ本文ノ如クス

三崎近海ニ於テハ普通ノモノナリ

二十一　きいとせらすノ一種　第二十一圖

CHAETOCERAS *sp.*

（圖解）四個體連結セルモノヲ側面ヨリ見ル（六百倍）

本種ハ三崎附近ニ於ケルきいとせらす屬中ノ最小ナルモノニシテ其體ハ側面ヨリ見レハ稍ヤ矩形ヲ呈シ上下ノ兩面ハ少シク內方ニ凹入シ其中央ニ當リテ低キ疣狀ノ隆起アリ正面ヨリ檢スレハ楕圓形ナリ各個ハ四隅ヨリ一本宛ノ刺ヲ發スルコト常ノ如シ是等ノ刺ハ極メテ細ク且短カク體幅ノ二倍程ニ達スルニ過キス、色素粒ハ何時見ルモ淡黃色ニシテ不規則ナル一塊ヲ爲シテ存ス之レ或ハ生活當時ノ常態ニ非サルヘシト信セラル

此種モ同シク數多連結シテ百足虫狀ヲ爲セトモ大概直線ヲ爲サスシテ不規則ニ蜿曲スル且ツ途中ヨリ分離シ易キノ性アリきいとせらす屬中本種ニ類似セルモノニきいとせらす、ろすとらとすアリ其刺ノ長短ニ就テ疑ナキヲ得ス依テ本種ヲ之レニ當ツルノ可否ハ暫ク後日ヲ待チテ決定スヘシ

三崎近海ニハ極メテ多量ニ之レヲ產ス

二十二　いうかんぴあ　ぞでぃあくす　第二十二圖

EUCAMPIA ZODIACUS *Ehr.*

（圖解）a、環狀群體ノ一部、內一個體ノ色素ヲ示サスシテ紋樣ヲ示ス　b、正面輪廓（三百倍）

體ハ扁平ニシテ正面ヨリ見ルトキハ長楕圓形ヲ呈スレトモ側面ヨリスル時ハ略ホ**工**字形ヲ爲シ其上下ノ兩端ハ平カナリ常ニ數多相集リテ平紐ノ如クナリ其一方ハ他ヨリ狹キヲ以テ隨テ螺旋狀ニ卷曲スルニ至ル其各個體ノ間ニ生スル空隙ハ楕圓形ヲ爲シ其幅殆ント體ノ中央部ニ同シ

側面ヨリ測ルトキハ體ノ長サハ四十「ミクロミリメートル」アリ外緣ハ三十乃至四十「ミクロミリメートル」アリテ內緣ハ二十二乃至三十「ミクロミリメートル」アリ其中央部ヲ縱走セル一帶ノ區域ニハ縱走セル微細ナル條紋ヲ有シ其他ノ兩區域ニハ細點紋アリ此點紋ハ體ノ縱所ニ當レル一小點ヨリ幅射狀ニ排列セラル、モノ、如シ色素粒ハ長楕圓狀ニシテ中央

ノ縁所ニ多ク集マリ之レヨリ兩縁邊ニ向テ放射狀ニ分布セラル

三崎近海ニテハ普通ノ種ニシテ其形體ノ奇ナルト其色素粒ノ美ナルトヨリシテ顯微鏡下ノ偉觀ナリ

二十三　ちちりうむノ一種　第二十三圖

(圖解) a、二個體未タ母殼内ニ在ルモノ一個ハ原形質ノ放射狀排列ヲ示ス(三百倍)
b、正面(百五十倍)

DITYLIUM *sp.*

體ハ側面ヨリ見ルトキハ三稜柱狀ヲ爲シ其上下ノ面ノ中心ヨリ一條ノ長クシテ太キ硅石質ノ長柱ヲ有ス體ハ頗ル大ニシテ長サ三百「ミクロミリメートル」直徑二百「ミクロミリメートル」ヲ算ス正面ヨリ柱狀體ノ端ヲ窺ヘハ著シク複雜ナル構造ヲ發見スヘシ其外廓ハ稍ヤ三角形ニシテ其緣邊波狀ヲ呈シ全體ヨリ謂ヘハ少シク内方ニ彎曲ス而シテ各角點ヲ連結スル三條ノ隆起線アリテ同シク内方ニ彎曲シ斯クシテ再ヒ三角形ノ面積ヲ構成ス此隆起線ノ上ニハ稍ヤ波狀ニ曲レル短キ刺アリ整然相列ヒテ角點ヨリ少シク距タル所ニ達シテ止ム中央ノ三角形ノ面積ノ中心ニハ長柱ヲ有シ之レヨリ輻射狀ニ發スル點紋アリ色素粒ハ大ニシテ不規則ナル棍棒狀ヲ爲シ體ノ中心ニ懸在セル核ヲ取リ卷キテ相集リ更ニ之レヨリ放射狀ニ排列セラル

此屬ニハ三四種アルノミ本種ハ既ニ記載セラレタル就レノ種ニモ一致セス其種名ノ決定ハ後日ニ讓ル

二十四　りとですみゆむノ一種　第二十四圖

(圖解) 二個體連結セルモノ、内一個ハ透視的縱斷圖(百五十倍)

LITHODESMIUM *sp.*

體ハ正面ヨリ見レハ略ホ三角形ヲ呈シ緣邊波狀ニ高低アリ各角頂ハ鈍頭ヲ爲セリ其中心ヨリ放散狀ニ排列セラレタル點紋アリ側面ヨリ檢スレハ體ハ三稜柱狀ニシテ幅八九十「ミクロミリメートル」長サ二倍乃至三倍アリ其周圍ヲ匝リテ中間帶アリ巾約體長ノ三分ノ一程アリ體ノ側面ニハ細カキ點紋アリ色素粒ハ長楕圓形ヲ爲シ體ノ中心ニ在ル核ノ周圍ニ集合シ之レヨリ原形質ノ線條ニ隨ヒテ放散狀ニ存シ遂ニ殼被ノ裏面ニ散布セラル

此屬ハ凡ソ六種ヲ包含ス今本種ト一致スヘキ記載ヲ見出タス能ハス暫ク後日ヲ待チテ種名ヲ決定スヘシ

三崎近海ニハ往々之レヲ見ル

二十五　びどるふぉあ、しねんしす　第二十五圖

BIDDULPHIA CHINENSIS *Grev.*

（圖解）二個體尚母殼內ニ在ルモノ側面（百五十倍）

體ハ大概二個宛相聯リテ存シ其各個ハ凹形ヲ爲セリ即チ側面ヨリ見ルトキハ矩形ニシテ其四隅ハ上下ニ突出シ其先端ハ更ニ凸起シテ短嘴狀ヲ爲ス而シテ各嘴狀凸起ノ內側ニ當リテ一條ノ長刺アリ始メハ斜メニ外側ニ向ヒ嘴狀凸起ノ上部ニ達スレバ轉シテ體ノ長軸ト並行ス而シテ二個體相聯結セラルヽトキハ甲ノ嘴狀凸起ト乙ノ其レトハ互ニ其先端ニテ觸レ長キ刺ハ前後ニ組ミ合フコトきいとせらす屬ノ刺ニ同シ但シ此種ニ於テハ刺ハ外方ニ向ハサルノミ若シ二個體未タ母體ノ殼中ニ在ル時ハ刺ハ其內側ニ沿ヒテ走ル側面ニ於ケル幅ハ二百二十「ミクロミリメートル」高サ凡ソ百五十「ミクロミリメートル」アリ刺ノ長サハ凡ソ百四十「ミクロミリメートル」ヲ算ス正面ヨリ見レハ扁平楕圓形ニシテ其橫徑五十「ミクロミリメートル」內外アリ二個體連結スル中間ニハ長楕圓形ノ空隙ヲ剩ス色素粒ハ不規則ナル小盤狀體ニシテ體ノ一方ニ偏セル核ノ周圍ニ集マリ之レヨリ原形質ノ線條ニ隨ヒテ放散狀ニ散布セラル殼被ノ中間帶ヲ除キテ一面ニ細微ナル

紋樣アリ

此種ノ原種ハ香港ニ於テ採收セラレタルモノニシテ其記載ニ從ヘハ長刺ハ一直線ナリトアリ然レトモ二個體カ未タ母殻中ニ在ル場合ニハ直線刺ニテハ不合理ノ觀アリ恐ラクハ老成シタルモノニテハ直線ナレトモ分裂後未タ時日ヲ經サルモノハ本文ニ述ヘタル如キ形狀ヲ有スルモノナラン就レニシテモ刺ノ直線ナルハ多少考究ヲ要スル所ナリ故ニ余ハ我カ國所產ノモノヲ假リニ上揭ノ種名ニ宛テ後來ノ確定ヲ待ツ

三崎近海ニハ普通ノ種ナリ

二十六　びどるふゐあ、ぷるけら　第二十六圖

(圖解) a 連結體ヲ示ス、其一個體ノ紋樣(百五十倍)

BIDDULPHIA PULCHELLA *Gray.*

體ハ側面ヨリ見ルトキハ略ホ方形又ハ長方形ニシテ縱ニ四條ノ線アリ之レヲ以テ體ヲ五個ノ縱帶ニ分ツ其中央ニ位セルモノハ最モ幅廣クシテ左右ニ隣ルモノ最モ狹シ而シテ夫ノ中央帶及ヒ左右兩端ニ在ル諸帶ハ上下ノ兩端ニ當リ球形ノ隆起アリ殊ニ四隅ニ在ルモノハ特別ニ區劃セラレテ一種ノ附屬物ノ如ク見ユ又體ノ周圍ヲ匝クリテ廣キ中間帶アリ以テ五縱帶ヲ束ヌルカ如シ此間帶ハ分裂直後ノ個體ニ於テハ其幅甚タ狹クシテ僅カニ一條ノ線トナリテ見ユレトモ老成シテ將ニ分裂セントスルモノニ在リテハ著シキ幅ヲ有シ此內ニテ分裂ヲ遂ク被殻ノ全面ニハ細微ナル點紋アリ整然トシテ縱ニ排列セラル其間帶ニ在ルモノハ通常他ノ部ニ在ルモノニ比シテ一層微細ナリ

此種ハ地球上到所ノ海ニ產シ原來數多相聯リテ線狀ヲ爲シ岩石ニ附着スルヲ以テ往々海藻ト誤認スルコトアリ其聯ルハ體ノ四隅ノ突起ニ僅少ノ粘液塊ヲ有シ之レヲ以テ他體ノ突起ト接着ス且ツ中央縱帶ノ兩端ニ短小ナル刺狀突起ヲ有シ相

聯ル二個ノモノ中途ニテ遭合シ以テ連結ノ用ヲ爲スナリ此種ハ他物ヨリ離レテ浮游植物中ニ見ルコト稀ナラス三崎近海ニモ亦タ普通ナリ

二十七　らぶどねま、あどりあちくむ　第二十七圖

RHABDONEMA ADRIATICUM *Kütz.*

（圖解）a、一群體ノ中途ヨリ割レタルモノ、b、正面（三百倍）

此種ハ多數相集リテ平板狀ノ群體ヲナシ時トシテ更ニ數多ノ群體相聯結セラレテ紐ノ如クナルコトアリ各群體ヲ聯結スルハ其一隅ニ存スル寒天質ノ一小塊ヲ以テスルモノニシテ之レヲ以テ又他物ニ着生ス然レトモ群體ハ個々離散シテ浮游植物中ニ現ハルヽコト珍ラシカラス稀レニ群體ハ解離シテ小群體ヲ作レルコトアリ

一ノ群體ハ通常方形又ハ長方形ヲ爲シ二三十個ノ個體ヨリ成レリ其兩端ニ位セルモノハ中間ニ介在セルモノニ比シテ形狀ヲ異ニセリ之レ離端ノ面カ自由ノ發達ヲ遂クルヲ得レハナリ

一ノ個體ハ側面ヨリ見レハ線狀ニシテ百八十二「ミクロミリメートル」ノ長サアリ幅僅カニ七「ミクロミリメートル」ニ過キス全體多少彎曲シ橫ニ並行線紋アリ其中央ヨリ少シク距テル所ヨリ縱ニ外方ニ向ヒテ隔板ヲ生シ體ノ末端ニ至ラスシテ止ム之レニ隣レル個體ニハ中央ヨリ前者ト反對ノ方向ニ距テル點ヨリ他端ニ向ケテ隔板ヲ生シ斯クシテ交互ニ生ス其眞相ハ圖ヲ以テ示セル如シ斯ノ如キモノ十數個ニシテ始メテ一群體ヲ爲ス正面ヨリ見レハ長キ梭形ヲ呈シ中央ニ楕圓形ノ孔アリ其左右ニハ之レヨリモ小ナルモノ一個存ス縱ニ中央ヲ走レル擬殼隙アリ之レヨリ羽狀ニ排列セラレテ細カキ並行線紋アリ但シ末端ニハ之レヲ見ス

色素粒ハ微粒狀ニシテ體ノ中央ヲ去ル某距離ノ所ニ相集リテ二群ヲ爲セリ故ニ一群體ニテ之レヲ見レハ二條ノ有色帶ト

シテ現ハル

三崎附近ノ海上ニハ稀ニ之レヲ見ルコトアリ

二十八　ぐらまとふをら、まりな　第二十八圖

GRAMMATOPHORA MARINA *Kütz.*

（圖解）側面（三百倍）

側面ヨリ見ルトキハ體ハ長矩形ヲ呈シ廣サ六十「ミクロミリメートル」高サ十八「ミクロミリメートル」程アリ左右ノ兩端ハ稍ヤ鈍圓ヲ爲シ其緣邊ヨリ體ノ中央ニ向ヒテ二枚ノ壁ヲ發シ以テ體ノ高サヲ三等分スル如クス此等ノ壁ハ體ノ側面ヨリ見タル場合ニハ單ニ無色ナル波曲線トナリテ見エ其末端少シク太シ此二條ノ壁線ノ外ニ更ニ其上下ニ當リテ甚タ短小ナル壁アリ之レ後來體ノ分裂スルニ當リテ新タニ加ハルヘキ壁ニシテ植物體ノ分裂面ハ二條ノ大壁ノ中間ヲ通過スルモノナリ正面ヨリ窺ヘハ體ハ長菱形ヲ爲セリ色素粒ハ紐狀ニシテ體ノ中央ニ近ク局在シ其端ヲ壁ニ沿ヒテ體ノ左右ニ向ヘリ

本種ハ通常單獨ニ存シ三崎近海ニハ往々見ル所ノモノナリ

二十九　りくもふをら、ふらべらた　第二十九圖

（圖解）a 數群體一ノ寒天質ノ末梢ニ在ルヲ示ス（百五十倍）
b 變種ト疑フヘキモノ（三百倍）

LICMOPHORA FLABELLATA *Ag.*

此種ハ有柄硅藻中ノ主要ナルモノニシテ常ニ樹枝狀ニ分岐セル寒天質ノ末梢ニ着生シ往々數多一所ニ集合シテ開ケル扇

面ノ如キ美麗ナル群體ヲ形成ス此ノ如キ群體相集マル時ハ暗褐色ノ小斑トシテ肉眼ニ映ス通常おせも、海苔粗朶、岩石表面、馬尾藻科植物等ニ附着セル褐色泥狀ノ所謂「よごれ」ナルモノヽ中ニハ之レヲ有スルコト多シ然レトモ往々柄ヨリ脫離シテ浮游植物中ニ混在シ又ハ魚類ノ胃腸中ニ存スルコト稀ナラサルヲ以テ茲ニ之レヲ擧ク

體ハ長楔狀ニシテ長サ二百八十乃至四百十「ミクロミリメートル」ニ達シ下端巾狹ク上端廣ク三十乃至四十五「ミクロミリメートル」ニ達ス其上緣邊ヨリ下方ニ向ヒテ三個乃至四個ノ切レ目ノ如ク見ユル隔壁アリ達スルコト幾何モナクシテ止ム其中央ニ位スルモノハ左右ノモノヨリモ長キヲ常トス體ノ中ニハ四個ノ球狀體アリ強ク光線ヲ屈折ス常ニ二個宛相並ヒテ二對トナリ體長ヲ略ホ三分スル邊ニ在リ色素粒ハ扁平ナル長キ板狀體ヲナシ體ノ中央ニ二個上下ニ二個（側面ヨリ見テ）アリ其間ニ小キ空隙ヲ擁ス殼被ノ表面ニハ微細ナル並行線紋アリ

此種ハ三崎附近ニハ極メテ普通ニシテおまもノ葉上ニ夥シク着生シテ存ス

前種ニ似タルモノニテ其長サ二百九十乃至三百「ミクロミリメートル」ヲ測リ形狀恰モ同シケレトモ上端ノ角隅少シク鈍形ヲ爲シ色素粒ハ大ナル平板狀ヲ爲シ體ノ中央附近ニ對ヲナシテ縱ニ並ヘルモノアリ今之レカ種名ニ當ルヘキ記載ヲ見ス又前種ト區別スヘキ重要ナル性質ヲ發見セス或ハ變種ナラサルヤト疑フナリ暫ク茲ニ附記シテ再査ヲ待ツ

三十　くりまこすふえにあ、あうすとらりす　第三十圖

CLIMACOSPHENIA AUSTRALIS *Kütz.*

（圖解）a、二個體相接觸シテ寒天質ノ末梢ニ在ルモノ、b正面c長キ寒天質柄（百五十倍）d、aノ先端ヲ示ス（三百倍）

此種ハりくもふをら屬ノ種類ト似タレトモ體ノ中央ヲ走リテ上端ヨリ下端ニマテ達スル隔壁アリ其壁ハ數多ノ圓窓ヲ有シテ各圓窓ノ間ニハ壁ノ膨大シタル小球狀體アリ之レヲ側面ヨリ見ルトキハ一定ノ距離毎ニ強ク光線ヲ屈折スル楕圓形ノ

小體トシテ映ス此種モ同シク寒天狀物質ノ柄ヲ以テ他物ニ附着スレトモ其柄ハ短小ニシテ或ハ單一ニ又ハ掌狀ニ分レテ其各端ニ一二個ノ體ヲ有スルノミ扇狀ノ群體ヲ見ルコト稀ナリ殻被ノ表面ニハ微細ナル平行線紋アリ體ノ長サハ三百四十「ミクロミリメートル」幅ハ側面ニ於テ十七乃至三十五「ミクロミリメートル」ニ達ス色素粒ハ楕圓形ニシテ體ノ上部ニ密集シ且ツ其幾分ハ體中ニ散布セラル

三崎近海ニハ之レヲ見ルコト稀ナラス

三十一　ぢめろぐらま、うゐりやむそにい　第三十一圖

DIMEROGRAMMA WILLIAMSONII *Grev.*

（圖解）a 一群體ノ側面、b 一個體ノ正面（六百倍）

一ノ個體ヲ取リテ側面ヨリ見ルトキハ稍ヤ長方形ヲ爲シ兩端ノ隅角ハ少シリ尖レリ端邊ニハ各二箇所ノ凹ミアリ而シテ體ノ中央部ハ少シク左右ニ隆起シ此所ニ多少ノ寒天質ヲ附着セシム今體ヲ正面ヨリ見ル時ハ略ホ梭形ヲ呈シ兩端稍ヤ狹ク體ノ中央部輕ク縊レアリ殻隙ノ位置ニ當レル一道ヲ除キテ其左右ニ點紋ヲ認ム此點紋ハ體ヲ側面ヨリ見ル場合ニ當リテ其兩緣邊ニ並行狀ニ現ハル色素粒ハ大ナル板狀ヲ爲シ體ノ上下兩半ニ各一個宛アリ殆ント其中央ニ位置セルコト多シ

各個體ハ單獨ニ存スルコトナク常ニ數多相聯リテ扁平ナル紐狀ノ群ヲ構成ス其連ナルニ當リテハ前ニ述ヘタル寒天質ト兩端ノ隅角トノ三箇所ヲ以テ相隣レルモノニ附着セリ其數十個一聯トナリタルモノハ實ニ顯微鏡下ノ奇觀ナリ

此種ヲ前揭ノ種名ニ當ツルハ稍ヤ疑ナキ能ハス其形狀ハチヤレンジヤー號探檢報告書ノ硅藻部第十九版第十圖ニ揭ケタルモノモ恰當ス然レトモ該圖ニハ其種名ヲ明記セサルヲ以テ別名ヲ下スヘキ樣ナシ

三崎近海ニハ之レヲ見ルコト多カラス

三十二　しねどら、あっふゐにす　第三十二圖

SYNEDRA AFFINIS *Kütz.*

（圖解）一群體側面（百五十倍）

側面ヨリ見レハ體ハ長線形ニシテ兩端ニ至ルニ隨テ漸次狹ク末端平カニ隅角直角ナリ長サ凡ソ百三十五「ミクロミリメートル」幅六乃至八「ミクロミリメートル」アリ其將ニ分裂セントスルモノハ往々十五「ミクロミリメートル」ニ至ル正面ヨリ檢スレハ長梭形ニシテ兩端狹ク末端鈍圓頭ヲ爲シ別ニ特殊ノ變化ヲ見ス羽狀ニ排列セラレタル細カキ並行線紋アリ

此種ハ單獨ニ存スルコトアレトモ多クハ扇形又ハ車軸狀ニ相集リテ存シ三崎近海ニハ屢々之レヲ見ルコトアリ

しねどら屬ハ一百餘種ヲ包含スル大屬ニシテ其各種ヲ區別スヘキ點ハ極メテ微細ナル性質ニ關ス本種ハ就中最モ普通ナルモノヽ一ニシテ淡水鹹水孰レニモ產シ其形狀ハ所ニ據リテ多少ノ差アリ依テ數多ノ變種アルヲ報セラル今三崎ノ標本ニ適合スヘキ記載ヲ見ス依テ種名ヲ擧クルニ止ム次ニ記スルモノハ稍ヤ著シキ變種ナリ

三十三　しねどら、あふゐにすノ變種あゝくあたカ　第三十三圖

SYNEDRA AFFINIS VAR. ARCUATA *Grun?*

（圖解）一個體側面（六百倍）

主要ナル諸點ハ前揭ノ種ニ似タリ體ハ長線形ニシテ兩端截形ヲ呈シ少シク兩端ニ至ルニ隨テ狹ク全長六十六「ミクロミ

リメートル」程アリ少シク彎曲ス兩側ニハ羽狀ニ排列セラレタル細カキ並行線紋アリ正面ヨリ見タル所審ナラス故ニ前條ノ名ニ少シク疑アリ

三崎近海ニハ屢々之レヲ見ル

三十四　しねどらノ一種　第三十四圖

(圖解)二個體接觸セルモノ側面(三百倍)

SYNEDRA *sp.*

此種ハ體ハ甚タ長クシテ二百七十五「ミクロミリメートル」ニ達シ幅僅カニ十「ミクロミリメートル」ニ過キス側面ヨリ見ル時ハ長線形ニシテ中央ニ當リテ微カニ太ク兩端ハ平カニシテ隅角丸シ正面ヨリ見ルトキハ細長ナル梭形ヲ呈シ其兩側ニハ密ニ羽列セル並行線紋アリ色素粒ハ余カ見タルモノニテハ細粒狀ヲ爲シテ體中ニ充滿スレトモ原來ハ板狀ナルモノナルヤモ知レス

從來記載セラレタルモノニシテ本種ノ如キ長サニ達スルモノ三種アリ然レトモ其性質ニ於テ孰レモ本種ト一致セス隨テ種名ノ決定ハ後日ヲ期ス

三崎附近ニハ時々之レヲ見ル

三十五　たらしをつりつくす、につちをいです　第三十五圖

(圖解)a、一群體側面　b一個ノ正面(三百倍)

THALASSIOTHRIX NITZSCHIOIDES *Grun.*

本種ハ極メテ纖細ナルモノヽ一ニシテ其各個ハ側面ヨリ見ル時ハ殆ンド線形ヲ呈セル長方形ニシテ兩端ニ至ルニ隨テ微カニ狹クナリ其末端ハ四角形ヲ呈セリ之レヲ正面ヨリ見ル時ハ其幅ハ側面ヨリ檢シタル場合ト大差ナケレトモ兩端ハ鈍圓頭ヲ爲セルノ差アリ而シテ其兩端ヲ精細ニ比較スレハ同形ニ非スシテ一方ハ稍ヤ他方ヨリモ細シ又體ノ側面ヨリ見ル時ハ甚タ微細ナル並行線紋アリ色素粒ハ圓盤狀ニシテ整然トシテ體ノ上下面ノ內側ニ一列トシテ現ハル常ニ淡黃色ヲ呈スルヲ以テ全部黃色ニ見ユ

此種ハ一個體單獨ニ存スルコト稀レニシテ常ニ多數相集マリ其一端ニ近キ側面ニ於テ寒天質ノ小塊ヲ以テ他ノ個體トV字形ニ聯ナル而シテ通常數十個交互ニ連結セラレテ山形ヲ作リ或ハ其中ニ三個同一點ニ會シテ个字形ヲ成スモノアリ時トシテ一個ハ縱ニ二分シテ未タ離ルヽニ至ラス玆ニ曰字形ヲ成セルモノアリ

從來知ラレタル所ニ依レハ本種ハ北米西岸ニ多ク之レト略ホ同樣ナレトモ側面ヨリ見レハ稍ヤ彎曲スルモノ本邦ニ產セル旨記載アリ之レヲたらしをつりつくす、くるばた（**Thalassiothrix Curvata** Castr.）ト稱ス余ノ檢シタル所ニ依レハ中ニハ多少曲レルカ如キモノナキニ非サレトモ之レヲ以テ一定ノ性質ト認ムヘキ程顯著タラス單ニ眞直ナルモノヽ中ニ介在スル一二ヲ發見スルニ過キス故ニ前揭ノ學名ヲ取リテ斯クノ如クセリ

三崎近海ニハ普通ナリ

三十六　あすてりをねら、ぐらしあります　第三十六圖

（圖解）二個螺旋狀ニ卷ケル一群體（三百倍）

ASTERIONELLA GLACIALIS *Castr.*

本種ハあすてりをねら屬中特別ナル形態ヲ有スルモノニシテ其一端ハ膨レテ他端ハ細線狀ヲ爲セリ其膨脹部ヲ側面ヨリ

見レハ恰モ薤ノ如シ其中央ヲ縦ニ走レル二條ノ並行線アリ體ノ挾部ニ至リテ消失ス正面ヨリ見ルトキハ膨脹部ノ幅著シク減シ全體ハ長柄ヲ具セル棍棒ノ如キ觀アリ以テ夫ノ膨脹部ノ扁壓ナルヲ知ルニ足ルヘシ色素粒ハ一個ノ球狀塊ヲ爲シ其色淡黄ナリ

一個體ハ獨立シテ存スルコトナク常ニ數多相聯リ膨脹部ノ兩角ヲ以テ他ノ個體ト密接ス其間ニ少許ノ寒天質アリテ之レヲ連ヌルナリ其集マルコト六七個以上ニ及ヘハ漸次環狀ヲ爲シ膨脹部ハ環ノ内側ニ位シ管狀部ハ車軸狀ニ外ニ向ヘリ一層多キニ至レハ終ニ螺旋狀ヲ呈スルニ至ル即チ圖ニ示セル所之ナリ

本種ハ從來南氷洋ヨリ採收セラレタルヲ原種トスルモノナルカ英國附近ニモ之レニ似タルモノヲ產ス今回我カ國ニ於テ常ニ黑潮ノ近接スル所ニ產スルヲ見ルハ頗ル注目スヘキコトナリ

三崎附近ニハ普通ノモノナリ

三十七　あくなんてす、ぶれびぺす　第三十七圖

ACHNANTHES BREVIPES *Ag.*

（圖解）a、二個體聯結セルモノ側面、b、正面（三百五十倍）

此種ハ廣ク地球上ニ分布セラルヽモノニシテ原來短小ナル寒天質ノ柄ヲ以テ他ノ海藻ニ着生セルモノナレトモ波浪ノ爲メニ脫離シテ浮游植物中ニ見ルコト少カラス其個體ハ二個宛相附着セルヲ常トスレトモ往々數百個連接シテ一條ノ長キ紐ノ如クナルコトアリ

體ハ側面ヨリ見ルトキハ稍ヤ長方形ニシテ四隅鈍頭ヲ爲シ全體少シク波形ヲ呈セリ其上面及ヒ下面ハ粗ラク並行線紋アリ正面ヨリ檢スレハ菱形又ハ梭形ニシテ羽狀ニ排列セラルヽ線紋アリ殼隙ハ微カニ存ス體ノ長サハ七十乃至百「ミクロ

ミリメートル」アリ色素粒ハ板狀ヲ爲シ體ノ兩半ニ分レテ存シ其中央ニ核ヲ擁セリ

三崎附近ニハ屢々之レヲ見ル

三十八　こつこねいす、すくてるむ　第三十八圖

COCCONEIS SCUTELLUM *Ehr.*

（圖解）a、數個ノ一群ヲ正面ヨリ見ル、b、側面、c、同上ノ紋樣正面ヨリ見ル、d、種名不詳ノ一個體、（dヲ除キ六百倍）（d、倍數不明）

體ハ正面ヨリ見レハ小判形ニシテ中央ニ擬殼隙アリ之レヨリ羽狀ニ排列セラレタル細點紋ヲ有ス側面ヨリ見ル時ハ扁平ニシテ板狀ヲ爲シ長サ凡ソ二十「ミクロミリメートル」アリ

此屬ノ植物ハ下面ヲ以テ他ノ植物體ニ附着シテ存スルモノニシテ容易ニ脫離スルコトナシ故ニ浮游植物群ニ入ルコト多カラサレトモ魚類ノ胃腸中ニ見ルコト少カラス又其死骸ハ時トシテ水面ニ浮游シテ存スルコトアリ數多ノ種類ハ此屬中ニ在リテ三崎近海ニ於テモ之レヲ見ルコト二三ニ止マラス其最モ多ク見ルハ圖ニ示セル諸種ニシテ其他尙ホ多ケレトモ其各種ノ區別點ハ極メテ微細ナル性質ニ存シ低度ノ顯微鏡ヲ以ラシテハ往々其實相ヲ知ル能ハサルコトアリ故ニ玆ニハ其一種普通ナルモノヽミヲ擧ケ他ハ皆後日ニ讓ル

三十九　なびくら、ぐれびれい　第三十九圖

NAVICULA GREVILLEI *Heib.*

（圖解）a、寒天質管中ノ群（百五十倍）b、側面、c、正面、（六百倍）

本種ハ正面ヨリ見レハ形狀梭ノ如ク巾七乃至八「ミクロミリメートル」長サ三十三乃至三十五「ミクロミリメートル」アリ

其兩端ハ鈍頭ヲ爲セリ側面ヨリ見ルトキハ稍ヤ矩形ヲ呈シ四隅少シク丸シ色素粒ハ板狀ニシテ上下ノ兩面ニ一個宛存在シ其中間ニ核ヲ挾メリ

此種ハ元來個々獨立シテ存スルモノニ非スシテ多數群ヲ爲シテ細管狀ヲ爲セル寒天狀物質ノ中ニ在リ此寒天質ハ所々ニ分枝シ恰モ纖細ナル紅色藻類ノ如キ觀ヲ呈ス常ニ岩石又ハ高等ナル藻類ニ附着シテ生スレトモ時々波浪ノ爲メニ脫離シテ存シ且ツ個體ハ寒天質ヨリ脫出シテ浮游植物中ニ在リ

なびくら屬ハ千種ニ近キ多數ノ種類ヲ含ム大屬ニシテ頗ル精細ナル調査ヲ遂クルニ非サレハ其種名ヲ決定スル能ハス余ハ六百倍以上ノ廓大鏡ヲ用意セサリシヲ以テ玆ニ記シタル以上ヲ報告スル能ハス本圖ハ即チ極度ノ倍數ヲ以テ示シタルモノナリ

四十　ぷりうろしくま、あんぐらとむノ變種でりかとるむ

第四十圖

(圖解)一個體側面.(二百五十倍)

PLEUROSIGMA ANGULATUM VAR. DELICATULUM *V. H.*

體ハ常ニ獨立シテ存シ正面ヨリ見レハ細長キ紡錘形ヲ呈シ少シクS字形ニ曲レリ長サ二百五十「ミクロミリメートル」幅最モ廣キ所ニ於テ三十「ミクロミリメートル」アリ殼隙ハ明カニ通シ中央ニ大ナル凹點アリ兩極端ニ小凹點アリ全面ニ微細ナル並行線紋アリ互ニ斜ニ走レリ色素粒ハ二樣アリテ一ハ球狀塊ヲナセルモノ數個中央ニ核ヲ擁シテ存シ他ハ之レヨリ體ノ先端ニ向ヒテ走レル四條ノ丸紐トシテ見ユ

三崎近海ニハ往々之レヲ見ル

四十一　ぷりうろしぐま、をぶすくるむカ　第四十一圖

PLEUROSIGMA OBSCURUM *W. Smi?*

（圖解）一個體側面、（二百五十倍）

此種ハ長サ百三十五「ミクロミリメートル」幅中央ニテ二十二「ミクロミリメートル」アリ上揭ノ種名ニ相當スルモノヨリモ少シク廣キノ觀アリ故ニ其種名ニ就テ多少ノ疑點ナキニ非サレトモスミス氏ハ圖スルニ二個ヲ以テシ一個ハ長サノ割合ニ幅大ナリ之レ本種ニ近似スル所アルヲ以テ假リニ以上ノ如クス殼隙ハ少シク偏シテ殄レタルノ觀アリ色素粒ハ板狀ヲ爲シテ體ノ側面ニ着ケリ

三崎近海ニハ時々之レヲ見ル

四十二　ごんふをねま、えきしぐうむ　第四十二圖

GOMPHONEMA EXGUUM *Kütz.*

（圖解）a、分枝セル裏天質柄ノ末梢ニ在ル一個體側面、b、同上正面、（六百倍）

體ハ側面ヨリ見レハ楔形ヲ呈シ長サ二十四「ミクロミリメートル」上端ノ廣サ十五「ミクロミリメートル」アリ下端ハ鈍頭ニ終ル上端ハ平カニ非スシテ稍ヤ球面狀ニ隆起ス故ニ全形ハ半ハ開キタル扇面ニ比スヘシ上緣邊ヲ異ホ三分スル二點ニ於テ內ニ向ヒテ隆起點アリ體ノ下部ニ當リ外緣ニ羽狀ノ彫刻ヲ見ル正面ヨリ見レハ體ハ棍棒狀ヲ爲シ上方太ク其端鈍頭ヲ爲シ下部ニ至ルニ伴レテ狹クナル中央ニハ不完全ナル殼隙アリ之レヨリ左右ニ羽狀ノ線紋ヲ見ル

色素粒ハ楕圓塊ニシテ十數個アリ體ノ中央ニ集マレリ

此種ハ原來寒天質ノ長軸上ニ附キテ生シ此軸ハ樹枝狀ニ分岐シテ存スルモノニシテあまも、ほんだわら其他ノ海藻ニ附着シテ所謂海垢ノ一ヲナスモノナリ然レトモ屢々軸ヨリ脫離シテ浮游植物中ニ混在ス

三崎附近ニハ普通ノ種ナリ

四十三　あんふをら、をすとりあり　第四十三圖

AMPHORA OSTREALIA *Breb.*

（圖解）a、一個體側面、b、正面、（六百倍）

體ノ搆造ハ甚タ複雜ニシテ側面ノ表裏ハ相同シカラス今其表面ヨリ見レハ稍ヤ楕圓形ニシテ少シク左右ニ膨レ兩端平カナリ此平カナル兩端ヲ結合シテ繭形ノ區域アリ之レニ長軸ノ方向ニ縱走セル線紋アリ之レヲ除キタル區域即チ左右ノ兩側ニ位セル新月形ノ部ハ短軸ノ方向ニ排列セラレタル細點紋ヲ以テ被ハル其中頃ニ當リ即チ繭狀部ノ縱點ト體ノ左右ノ膨脹部トヲ連ヌル點ニ著シク判然タル一線アリ裏面ハ平カニシテ單ニ縱走セル不判明ナル線狀紋アルノミ正面ヨリ見レハ恰モ前指（マヘザシ）ノ櫛ノ如キ形ヲ爲シ表面ハ弓形ニ隆起シ裏面ハ稍ヤ平カナリ

此種ハ水中ヲ自在ニ游泳ス

三崎近海ニテハ可ナリ普通ノモノナリ

四十四　えぴてまノ一種　第四十四圖

EPITHEMA *sp.*

（圖解）褐色藻ノ一種ノモノニ着生セル數個體、（三百倍）

此種ハ體ノ全長六十五「ミクロミリメートル」幅十三「ミクロミリメートル」位ヲ最大トスル微小ナル硅藻ニシテ正面ヨリ見レバ稍ヤ川船形ヲ爲シ中央少シク膨レテ兩端截形ヲ爲セリ側面ヨリ見ルトキハ下底ハ少シク凹入スルカ又ハ稍ヤ平カニシテ上部ハ隆起ス常ニ下面ヲ以テ他ノ藻類ニ附着シテ存ス

體ノ紋樣明カナラサルヲ以テ種名ヲ確定シ難シ

三崎ノ近海ニテハ褐色藻類ノ毛ニ着キテ存ス

四十五　ばちらりや、そしありすノ變種いんぢか　第四十五圖（圖解）一群體ノ一部（六百倍）

BACILLARIA SOCIALIS GREG. VAR. INDICA *Castr.*

體ハ長錘形ヲ爲シ兩端鋭ク尖カリ側面ヨリ見ルモ上面ヨリ見ルモ形狀ニ於テハ著シキ差異ナシ唯タ側面ニ當リテ纖細ナル並行線紋アルノミ體ノ中央ニ核ヲ有シ色素粒ハ數個ノ板狀體ヲ爲シテ其兩側ニ集マレリ

此種ハ單獨ニ存スルコトアレトモ多クハ線狀ニ相連ナリテ存ス而シテ其奇トスヘキハ其聯結セラレタル儘一團トナリテ長軸ノ方向ニ前後ニ運動スルノミナラス其內ノ一個體ハ隣レル他ノ個體ト觸接セル儘長軸ノ方向ニ前後ニ辷ルノ一事ナリトス然レトモ之レカ爲メニ聯結ヲ破ル等ノコトナシ之レ此屬ノ植物ノ特異トスル所ナリ

此種ハ地球上普通ノモノニシテ其多少ノ異ナル點ヲ以テ數變種ニ分タル茲ニ掲ケタルモノハ變種いんぢかニ相當ス

三崎近海ニテハ甚タ普通ノ種ナリ

四十六　ばちらりや、そしありすノ變種かせいせれんしすカ

第四十六圖

(圖解)a、一群體、皆側面ヲ見ル、b、正面、(三百倍)

BACILLARIA SOCIALIS *Greg.* VAR? SEYSCHELLENSIS *Grun?*

體ハ正面ヨリ見レハ直線狀ニシテ兩端少シク細ク先端鈍頭ヲ爲ス長サ百七十「ミクロミリメートル」巾七「ミクロミリメートル」アリ其中央ヲ縱走シテ一條ノ細點紋アリ高度ノ顯微鏡ニテ始メテ判明ニ見ルヲ得左右ノ兩緣ニハ細カキ條紋アリ側面ヨリ見ルトキハ巾少シク廣ク十「ミクロミリメートル」內外ヲ算シ兩端四角形ニシテ中央部ヨリハ稍ヤ狹シ分裂スルニ當リテ側面ノ中央ヨリ縱ニ割ルヽヲ以テ分裂後幾何モナキモノハ其幅著シク狹シ色素ハ板狀ヲ爲シテ體ノ四個所ニ在ルコト多シ即チ圖ノ如シ

此種ハ上下ノ面ヲ以テ並行ニ附着シ多數群ヲ爲シテ存スルヲ常トス恰モ杉箸ヲ列ヘタル如シ而シテ其附着面ニ並行シテ各個ハ長軸ノ方向ニ辷ルヲ以テ時トシテ帶形ヲ爲スコトアリ多クハ絕エズ此運動ヲ爲セルヲ以テ顯微鏡下ノ一奇觀ナリ三崎附近ニハ普通ナリ

四十七　につちあ、ろんぎしま

第四十七圖

(圖解)a、正面、b、側面(三百倍)c、一變種(倍數不明)

NITZSCHIA LONGISSIMA *Ralf.*

體ハ紡錘狀ヲ爲シ其兩端著シク伸長シ全長三百四十乃至五百「ミクロミリメートル」ニ達ス正面ヨリ見ル時ハ上下ノ伸長部ハ細管狀ナレトモ側面ヨリ見ル時ハ數倍ノ幅アルヲ以テ即チ平板狀ヲ爲セルコトヲ知ルヘシ體ノ中央膨大部ハ兩レノ

方向ヨリ見ルモ酷タシキ差ナシ唯タ正面ヨリ見レハ微細ナル並行線紋ノ中央ヲ走レルヲ見レトモ側面ヨリスレハ縁邊ヲ走レルノ差アルノミ色素粒ハ體ノ膨大部ニ在リ中央ニ核ヲ擁シテ二部ニ局在ス

此種ハ體ノ長軸ノ方向ニ進退游泳ス

三崎近海ニハ普通ノ種ナリ

本種ノ變種うんぢうらた (var. **Undulata** Grun.) ト認ムヘキモノヲ明治三十一年ノ夏期ニ於テ三崎近海ヨリ得シコトアリ正面ヨリ見レハ夫ノ伸長部ハ波狀ニ彎曲セリ

四十八　につちあノ一種　第四十八圖

(圖解)一個體ノ側面(六百倍)

NITZSCHIA *sp.*

此種ハ形狀稍ヤ前種ニ似タル所アレトモ兩端ノ伸長部ハ一方ニ彎曲シ全體新月形ヲ呈セリ加フルニ其大サ僅カニ長サ四十四「ミクロミリメートル」巾三「ミクロミリメートル」ニ達スルノミ色素粒ハ體ノ膨大部ニ二塊トナリテ存シ其中間ニ核ヲ擁セリ

本種ニ似タルモノ三四種アレトモ其大サ著シク異ナリテ數倍乃至十數倍ノ長サヲ有ス斯クノ如キ非常ノ差アルハ決シテ同一種ニハ有リ得ヘカラサル所ニシテ或ハ未知ノ種ニ屬スルモノナラント疑ハル

三崎近海ニハ屢々之レヲ見ル

四十九　につちあノ一種　第四十九圖

NITZSCHIA *sp.*

體ハ正面ヨリ檢スレハ直線狀ヲ呈シ幅七「ミクロミリメートル」長サ之レニ十倍ス上下ノ兩端稍ヤ斜ニ削ケ其頂端鈍頭ヲ爲セリ兩側共ニ彫刻アリテ色素粒ハ二個ノ大塊ヲ爲シ體ノ中央ニ核ヲ有シ其上下ニ在リ外ニ脂肪粒等ヲ含有ス

此屬ノ植物ニシテ本種ニ似タルモノ甚タ多シ不幸ニシテ標本稀少ニシテ充分ナル觀察ヲ遂クル能ハス隨テ其種名ヲ定ムル能ハス

三崎近海ニハ普通ニ非ス

五十　屬種不明ナル一種　第五十圖

(圖解)a、一個體側面、b、透視的斷面、c既ニ分裂シタルモノ(百五十倍)

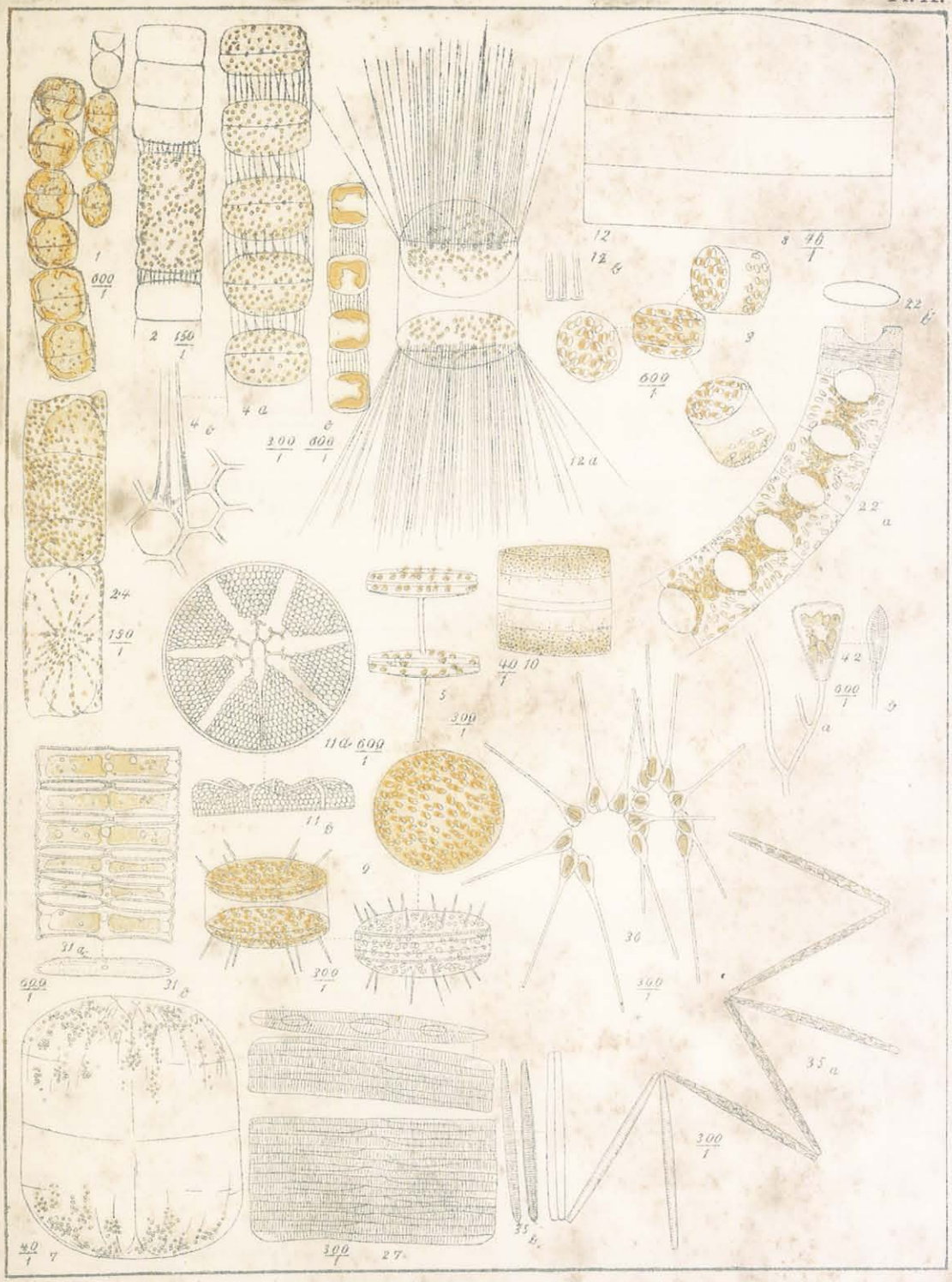
Gen? sp?

從來嘗テ聞知セサル奇形ヲ有スル硅藻ニシテ體ハ恰モ心臟形ヲ爲シ一端尖リ其先キ鈍頭ナリ他端ハ平カニシテ少シク凹メリ之レヲ橫斷スレハ其面ハ圓形ナリ常ニ單獨ニ存ス通常長サ百八十「ミクロミリメートル」幅二百五十「ミクロミリメートル」程アリ其將ニ分裂セントスルモノハ長サ二百五十「ミクロミリメートル」幅二百九十「ミクロミリメートル」ニ及フコトアリ其第一次ノ分裂面ハ第二次ノ分裂面ト直角ヲ爲ス是レ殊ニ奇トスヘキ點ナリ即チ第一次ノ分裂ハ尖端ノ中心ヲ通リ太キ端ノ中央ヲ走ル面ニ於テシ分裂ヲ遂クレハ玆ニ斜ナル篩狀ノ二個體ヲ作ル色素粒ハ不規則ナル小盤狀ニシテ

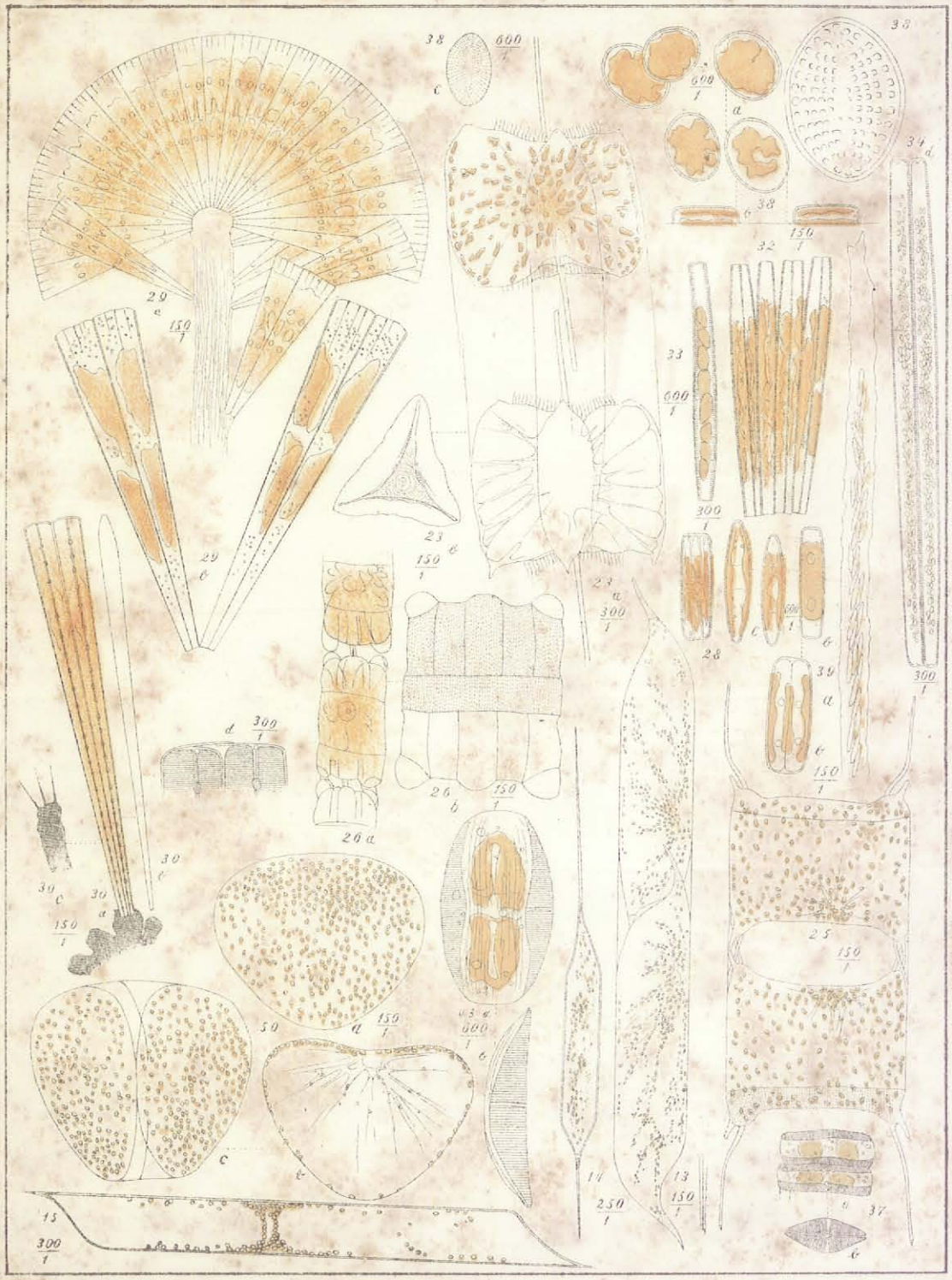
太キ端ノ中心ニ位スル核ノ附近ヲ集合シ之レヨリ原形質ニ沿ウテ放散形ニ分布セラル

三崎近海ニテハ之レヲ見ルコト稀ナラス

此種ハジョン、ムーレー氏ガ熱帯地方ノ海面ニ於テ得タルびろしすてす(Pyrocystis)屬ノモノト親近ノ關係アルモノヽ如シ但シ同氏ハ該屬ヲ以テ藍藻門植物ニ屬スルモノトセシカ果シテ然ルヤ否ヤハ未タ不明ノ點アリ余ハ將來本種ニ就テ精細ナル研究ヲ遂ケタル後チ此等ニ關スル疑問ヲ解釋スルノ日アラムコトヲ期ス


1
600/1
2
150/1
4a
4c
300/1
600/1
12
12c
12a
8
40/1
22c
22a
24
150/1
5
40/1
10
300/1
11a
600/1
11c
9
42
600/1
31a
31c
600/1
300/1
36
300/1
35a
300/1
40/1
7
300/1
27
35c

300/1
18 a
600/1
21
600/1
23 c
600/1
600/1
17
600/1
18 b
40
250/1
47 e
45
600/1
44 300/1
40
600/1
6
46 a
300/1
16 300/1
20
300/1
a
47 b
300
250/1
19
48
41
250/1
600/1


29 a 150/1
29 c
23 c
23 a 300/1
150/1
26 b 150/1
26 a
d 300/1
30 c
30 c
30 a
150/1
50 a 150/1
50 c
c
e
15 300/1
38 600/1 c
600/1 d
38 c
38 150/1
32
33 600/1
300/1
28 c 600/1 e
34 d 300/1
39 a
e 150/1
25 150/1
14 250/1
13 150/1
37 a
e

明治三十八年十二月廿三日印刷
明治三十八年十二月廿五日發行

農商務省水產局

東京市京橋區築地二丁目二十番地
印刷者　河本龜之助

東京市京區區築地二丁目廿一番地
印刷所　株式會社　國光社
（電話新橋二六九三特八八番）

D
1-1
328

JOURNAL

OF THE

IMPERIAL FISHERIES BUREAU

Vol. XIV **No. 2**

K. YENDO—CONTRIBUTION TO THE STUDY ON THE PHYTOPLANKTON OF JAPAN

WITH Pl. X—XII

IMPERIAL FISHERIES BUREAU

DEPARTMENT OF AGRICULTURE AND COMMERCE

TOKYO

1905